



鹿島マイハート便り

発行元：千葉県循環器病センター 地域医療連携室（直）0436-50-6501 F A X 0436-50-6503
 〒290-0512 千葉縣市原市鶴舞575 0436-88-3111(代表) F A X 0436-88-3032
 URL <http://www.chibakenritsubyouin.jp/junkan/index.html>

循環器病センター5つの運営指標

- 良質で模範的な医療の提供を目指します。
- 温かさ・思いやりの心で県民の皆様がいつでも安心して受診できる施設を目指します。
- 常に高度で先進的な医療を提供するため、職員一人ひとりが技術研鑽に努めます。
- 近隣の病院・診療所と密接な連携をはかり、地域全体の医療の向上を目指します。
- 透明性の有る医療を目指し、インフォームドコンセント（十分な説明・同意）に努めます。



千葉県循環器病センターは東日本大震災で被災された皆様を応援いたします！！



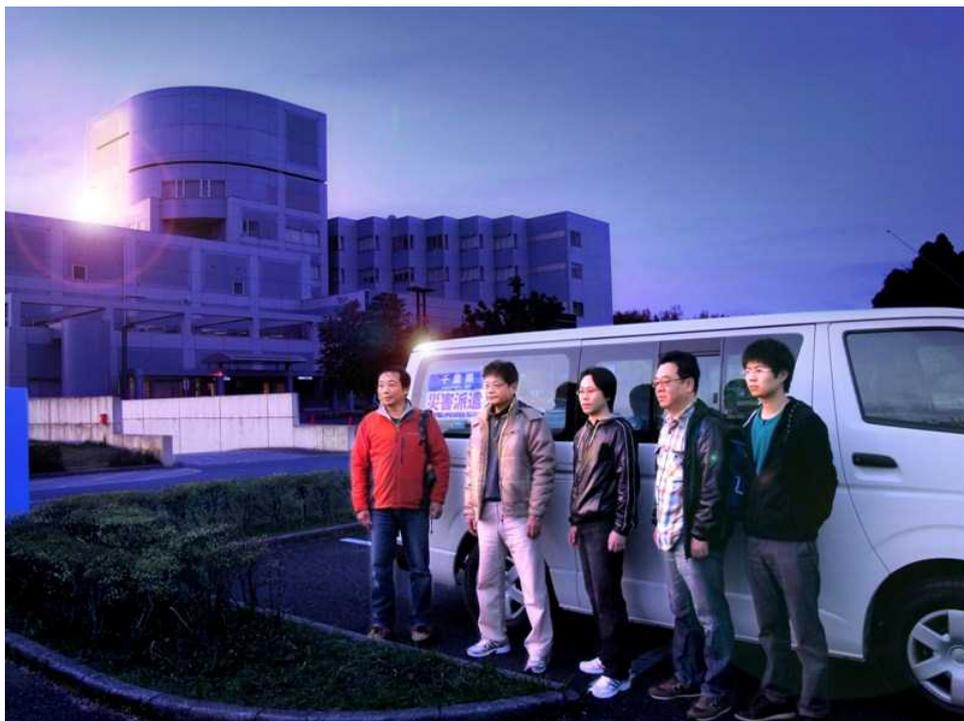
医療救護チーム出動！！

東日本大震災において岩手県から千葉県に対して、陸前高田市に対する医療救護活動について支援要請がありました。それに対して当センターからも医療救護班がスタッフの中から形成され、出動いたしました！！

出発当日は早朝4時集合にもかかわらず、スタッフからは甚大な被害を受けた被災地を支援することへの使命感と緊張感が漂っていました。市原IC～京葉道路～湾岸道路～首都高～東北自動車道という道のりを経て、いざ岩手県へ！！



出発前のミーティング



左から（田中看護師 井上医師 倉林看護師 飯田薬剤師 事務職 森）5名

【出動先での一日の流れ】

- 7:30 一関市大原公民館出発
- 8:30 陸前高田市東部デイサービスセンター到着
- 8:40 陸前高田市米崎コミュニティーセンターにて全体ミーティング
- 9:00 診療開始（東部デイサービスセンターでの診療、避難所めぐり など）
- 16:00 米崎コミュニティーセンターで全体ミーティング
- 17:00 業務終了。米崎コミュニティーセンター出発
- 18:00 大原公民館到着・宿泊

医療救護活動概要

・第13次医療救護班（千葉県循環器病センター）

活動日時：H23. 4. 18(月)～4. 22(金)

活動場所：岩手県陸前高田市小友町(おともちょう)

初日は移動、最終日は後続部隊への引継ぎ及び移動。



出発！！



「たすけて！」っていわれれば、
「たすける！！」っていう！！
医療救護班 循環器科 井上Drへインタビュー！



●インタビュー内容

①災害派遣は何名で対応されましたか？

医師1名、看護師2名、薬剤師1名、事務1名の合計5名で対応しました。

②災害派遣メンバー選考基準は有るのですか？

特に選考基準はなく、もともと循環器科から出すと決まっていたので、希望いたしました。

③災害派遣チームとしての具体的な活動を教えてください。

被災地の医療機関が甚大な被害を受けたために被災地の医師を手助けする形で仮設の診療所での被災地住民の一般的な診療を行いました。

④実際に現地の自衛隊・救急・自治体等の機関との連携はどのようにして行っていましたか？

自衛隊との連携は有りませんでした。全国から派遣された医療チームが地区ごとに医療を分担し、それを地元の高田病院の院長が統率し、そこに市役所職員が参加する形でした。緊急性を要する患者に関しては、隣町にある大船渡病院へ搬送していました。

⑤メディアでの情報と被災地の現状を実際に見て、どのような印象でしたか？

ある程度の惨状はメディアからの情報で得ていたのですが、実際にその情景を目にしてあまりのがれきの多さ、被害地域の広大さに驚かされるとともに津波の恐ろしさを感じました。

⑥被災地での医療環境において、人材や物資等以外に必要と感じた事などありますか？

政府の実行力でしょうか・・・被災地で始まった医療活動も民間が主体で医薬品の調達や人的派遣を行っており、そこに政治の力は見受けられなかった。受診された患者さんの医療費についても政府がすべて負担すると言えば済む事なのに、何も言わないものだから診療所によって自己負担を取ったり、取らなかったりで、患者さんの中で不公平感が生まれています。

⑦災害派遣期間中の生活、衣食住についてはどのようにされていたのですか？

幸い我々が宿泊した一関はライフラインが完備されており不自由な点は特にありませんでした。食事も持ち込まなくても現地で調達可能でした。ただ、布団だけでなくねぶくろでしたが・・・。

⑧チームを率いていく上で、何か苦勞された点がありますか？

みんな素晴らしいメンバーで何の苦勞もなく過ごさせていただきました。

⑨災害派遣チームの担当医としてどのような心構えで今回の派遣に臨みましたか？

私のつたない臨床経験が少しでもお役にたてるのであればと考えておりました。

⑩この経験をしたことで、何かご自身の中で変化はありましたか？

最近医療が高度化していて、患者さん自身というより検査データを見て医療を行っていましたが、聴診器1本で患者さんと向かい合い診療を行う医療の原点の大切さを改めて感じました。そのような状況に置かれて初めて本当の医師としての実力がわかるんじゃないかと感じましたね。

⑪災害派遣チームの担当医として、読者に一言お願いします。

今回貴重な体験をさせていただいたことに感謝するとともに不在中職務を代行してくれた医師、看護師、薬剤師、事務の方々に礼を申し上げます。



被災した陸前高田市の状況



災害派遣チームの食糧



診療所での診察風景

DMAT派遣報告

3月11日に発生した東日本大震災で甚大な被害を受けた東北地方へ災害派遣医療チーム（DMAT）の派遣を行いました。震災翌日の12日10時30分に浅野医師（心臓血管外科）、春木医師（麻酔科）、大沼看護師、大塚看護師、椎名薬剤師の5名が被災地に向け出発しました。

12日の夜に現地入りしたDMATは仙台にある東北労災病院、石巻にある石巻赤十字病院で活動を行いました。

派遣後行われた報告会では、DMATとして活動した5名が現地の状況や活動内容などをセンター職員に伝えました。これにより、被災地の被害の大きさを改めて認識することができました。

・多くの患者が詰めかけた石巻赤十字病院のロビー→



・報告会にて報告をする浅野医師↓



地震発生:3月11日14:46

15:14 厚生労働省医政局よりDMAT善後要請(携帯メール)
 16:05 仙台医療センター・福島県立医大が参集拠点に決定
 16:48 厚労省よりDMAT派遣要請
 17:49 筑波メディカルセンターと岩手医大が参集拠点に追加
 当センター-DMAT出動準備、隊員出動調整(震後3日)
 19:48 新千歳・伊丹・福岡空港からのDMAT隊員輸送検討
 21:00頃 気仙沼の大震災・仙台市内200-300棟連続発見報道
 亀田総合病院DMAT出動
 0:35 DMATの高速道路通行許可



出発前のスタッフたち

上写真の左から順に浅野医師、椎名薬剤師、春木医師、

売店が移転しました！

5月の連休中に売店が、ガンマ棟リハビリテーション室の隣から本館ラウンジ横へと移転いたしました。移転により患者の方が利用するエレベーターや待合室からも近くなりました。また移転に伴い、店内に新たに電子レンジを設置いたしました。利用者の皆様には温かいお弁当を提供できるとともに、購入した飲食物は隣接するラウンジにて召し上がることもできますので、是非ご利用ください。

また、品ぞろえについても今後、よりいっそう充実させていきたいと考えていますので、御期待下さい。



移転後の店内及び外観

ギャラリー「二つ返事」

- 6月 双炎「陶芸展」
- 7月 袖ヶ浦淡彩画教室「絵画展」
- 8月 丸「東明展(水墨画)」

2階ギャラリーでは月替わりで様々な展示を行っています。ぜひ、お立ち寄りください。

5月に展示された紅梅の会による書道の展示



～新しい医師の紹介～

【転入者】

《循環器科》

西 毅

馬詰 智子

《心臓血管外科》

弘瀬 伸行

《神経内科》

小川 喜胤

《脳神経外科》

足立 明彦

《外科》

中台 英里

《小児科》

森本 康子

《麻酔科》

雨宮 めぐみ

《レジデント医》

清水 太郎

今村 彰宏

《研修医》

小宮山 哲史

新井 隆之

杉田 統

木下 康亮

檜橋 和真



看護局では27名の新しい看護師を迎え入れました。これからよろしくお願い致します！

↓講演される丹羽前診療部長



★学術講演会 3月16日(水)★

演題「成人先天性心疾患の現状と今後の方向性」

近年の医療の進歩により、先天性心疾患を抱えるお子さんの多くが成人を迎えることができるようになりました。そのような患者さんに対して適切な診療を施せるよう、当センターでは成人先天性心疾患診療部という部を設けています。3月の講演では今までこの診療部をまとめてきた丹羽前診療部長がご自身の研究内容をセンター職員に対して報告して下さいました。100名以上の職員が参加し、先生のお話に耳を傾け、今後も診療を続けていく気持ちを新たにしました。

～院内行事～

～皆様の参加ありがとうございました～

★看護の日 5月21日(土)★

今年も5月21日に、看護の日のイベントが当センターで行われ、79名の方々に参加していただきました。ありがとうございました。また、鶴舞看護学校の2年生にはボランティアとして活躍していただきました。

当センター歯科の佐久間先生の講演が行われたのをはじめ、他にも転倒や腰痛を予防する健康体操などの体験コーナー、各部・科による相談コーナー、身長から骨密度や肺年齢までわかる健康チェックコーナーなど見どころ満載のイベントとなりました。住民の皆様へ健康知識の普及、当センターを知っていただく良い機会となりました。また、今年も鶴舞桜ヶ丘高校さんによる花の販売、作業所シーモックさんの焼き菓子販売があり、こちらも多くの方々に喜んでいただきました。

体験コーナーでの様子↓



市民公開講座のお知らせ

①日時:平成23年6月25日(土)

14時～16時

②場所:循環器病センター2F多目的ホール

③テーマ

●「脳梗塞～予防と前兆～」

神経内科 赤荻 悠一 医長

●「心臓手術とはどのようなものか？」

心臓血管外科 鬼頭 浩之 主任医長

☆申し込み方法☆

「市民公開講座希望」と明記し、郵便番号・住所・氏名を記入のうえ、下記申し込み先まで、「はがき」、「ファックス」、もしくは「電話」のいずれかでお申し込みください。

センター1階の総合受付脇のご意見箱でも受け付けております(先着制:130名)。

★申し込み・問い合わせ★

〒290-0512 市原市鶴舞575

千葉県循環器病センター 事務局 管理課
担当者:伊藤

TEL 0436 (88) 3111 内線 3568

FAX 0436 (88) 3032